

令和2年度 広島市の学校におけるいじめ防止対策及び働き方改革推進フォーラム

「いじめ防止対策及び働き方改革の推進モデル校」実践発表



広島市立安佐中学校

学級数 23 学級
生徒数 714 名
(令和2年5月1日現在)



いじめ防止対策及び働き方改革の取り組み (2年次)



広島市立安佐中学校

働き方改革の取り組み

- 1 平成31年度の主な取組と成果・課題
- 2 令和2年度の取組
 - (1) 1年目からの取組の進展
 - (2) 勤務時間の分析に基づく教職員の意識改善
 - (3) 年次有給休暇取得の推進
 - (4) 採点システムの導入
- 3 取組のまとめと今後の方向性



1 平成31年度の主な取組と成果・課題

<平成31年度の主な取組>

- ・ 職場環境の整備
- ・ 業務の効率化
- ・ 日課の見直し
- ・ PTA関連業務の見直し
- ・ 外部人材の活用

<平成31年度の成果>

- ・ 学校全体で勤務時間外在校等時間が減少した。
- ・ 年休取得日数が増加した。
- ・ 定時退校日の活用が進んだ。
- ・ PTA活動（内容・計画・分担）の整理、改善ができた。
- ・ 部活動時間の枠組みの統一、毎月の部活動実施計画の配布を徹底できた。

<平成31年度の課題>

- ・ 4、5月の勤務時間外在校等時間が多く、退校時間も遅い。
- ・ 部活動が盛んな時期に退校時刻が遅く、休日の部活動日も多くなる。
- ・ 年休取得の多くが夏季休業などの時期に集中している。
- ・ 定時退校日の確実な実施の必要がある。
- ・ P T A 役員がより主体的に活動できるようにする必要がある。

2 令和2年度の取組

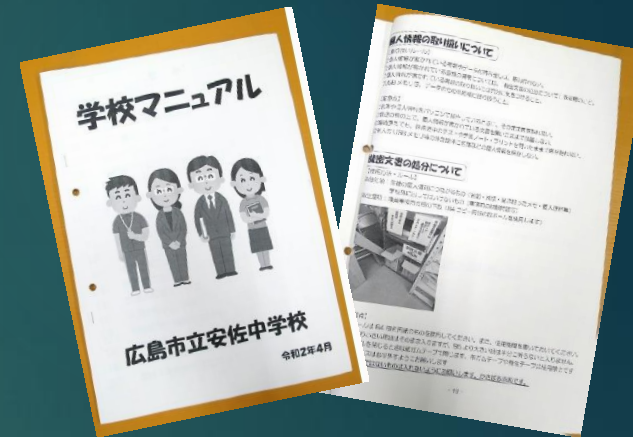
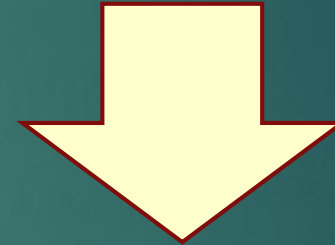
(1) 1年目からの取組の進展

職場環境の整備



職員の動線や作業効率を意識した
機器や物品の配置

今年度



校務運営マニュアルでルールを明確
化するとともに、ラベリングするこ
とで整った環境を維持できている。

業務の効率化

会議資料のペーパーレス化

- ・ 机上整理が進む
- ・ 紙の使用量を抑制
- ・ 資料の印刷配布の時間削減
- ・ 資料の紛失を防止

＋ 今年度

時間割のPDFによる配布

確認・修正・完成の流れがスムーズになり、
急な変更にも迅速な対応が可能になった。



日課の見直し

< H 3 1 >

部活動優先日の実施 (月2回)

朝会を短縮
掃除をカット
部活動時間を確保



今年度

毎週木曜日を 放課後活動優先日 として設定

生徒

部活動や委員会活動の
時間を確保

教職員

部活指導や会議・採点
等の時間を確保

P T A 関連業務の見直し

平成31年度

安佐南区 P T A 連合会事務局の担当校として
教頭などに大きな負担であった。

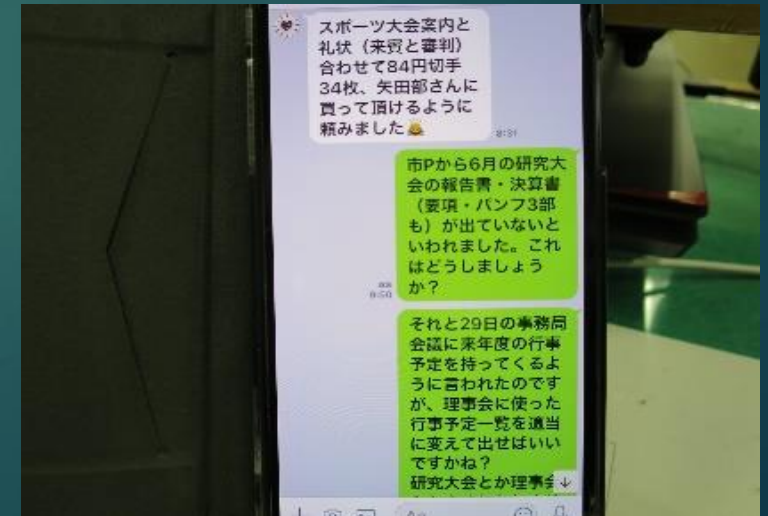
PTA事務局と
連携して実施

- ・ 専用 P C の設置
- ・ クラウドによりデータ共有化
- ・ SNS や LINE を利用した連絡

会議を減らし、
複数での分担を
可能にした

今年度

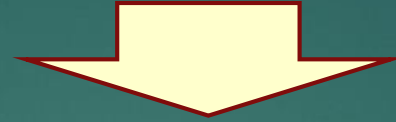
- ★ 単位 P T A の運営も、同様の手法により会議削減
と複数での業務分担を実現できた。
- ★ 教頭や教職員中心の運営から、本来の P T A 執行
部中心の運営に移行することができた。





(2) 勤務時間の分析に基づく教職員の意識改善

月初めの1週間の時間が、月終わりの合計時間に大きく影響する。

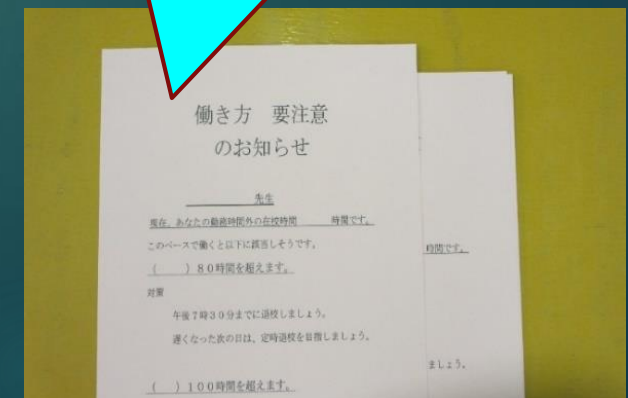


勤務時間外在校等時間の週単位で管理し、
こまめに声かけを行った。

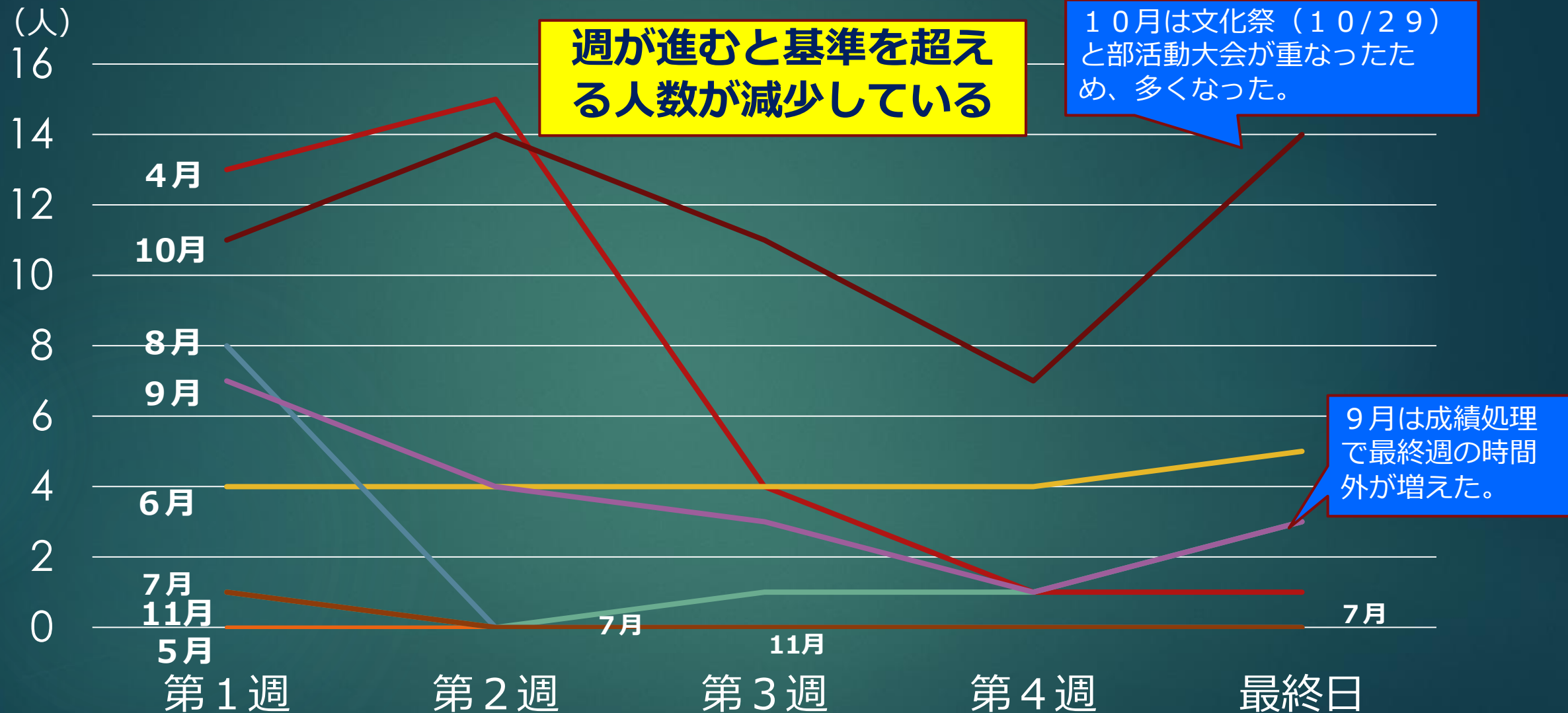
第1週20時間、第2週40時間、第3週60時間

超過時間が70時間こえた時期や月の後半に声かけするより、第1週の声かけの方が改善しやすく、**超過を防ぐ意識は高まった。**

週単位の管理と声かけ

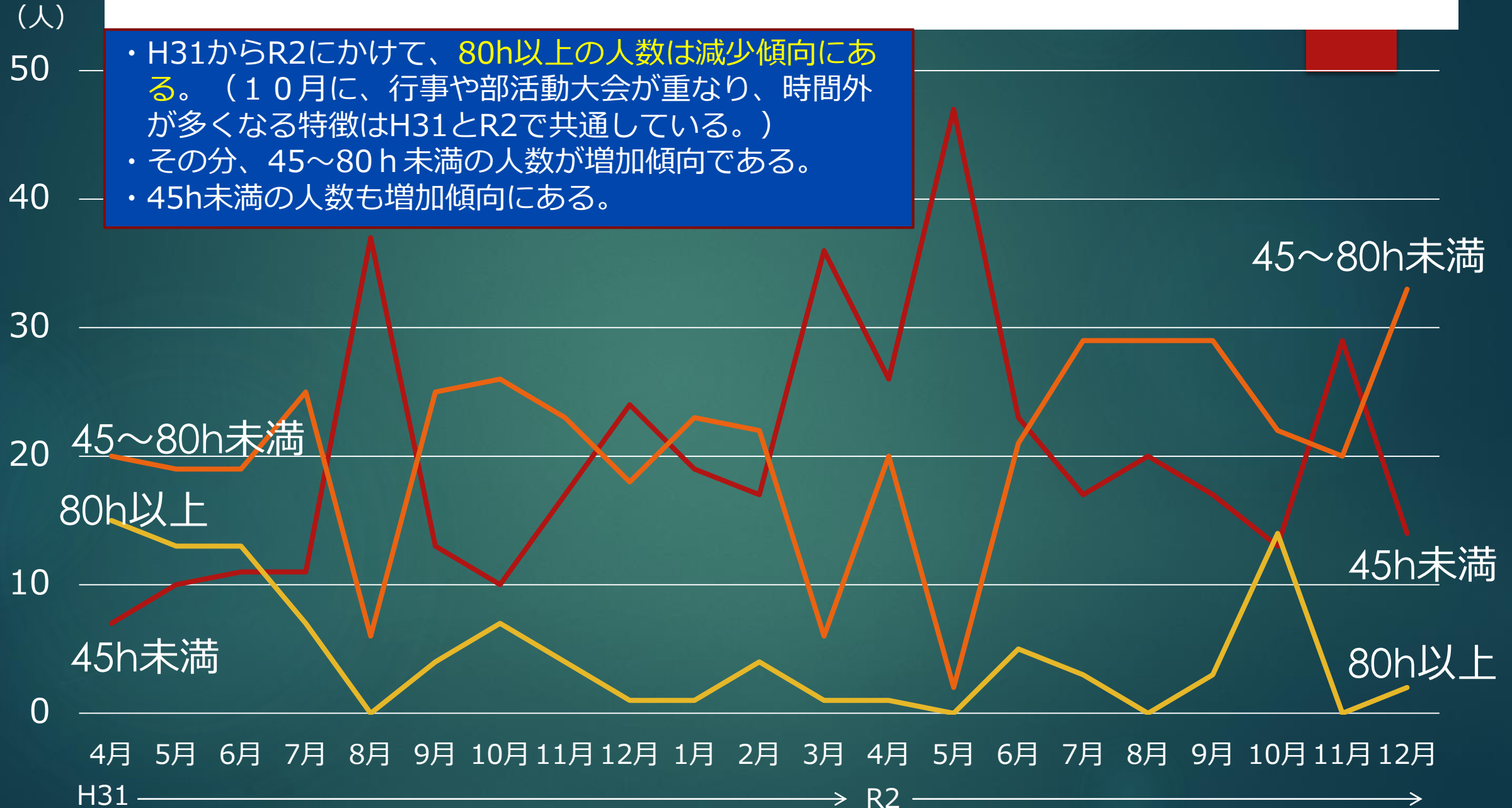


勤務時間外在校等時間 週単位基準を超えた人数 (R2 : 月別)



基準 : 第1週20時間、第2週40時間、第3週60時間、第4週以降80時間

勤務時間外在校等時間別人数の推移 (H31.4月～R2.12月)



(3) 年次有給休暇取得の推進

年休を取得する回数を増やすことが、年休取得日数（時数）の増加につながる。



① 計画年休の推進と実施

1日単位や半日単位での年休取得の計画を立て、時間割を可能な範囲で変更することにより、毎週各学年で1名は年休を取得することを目標に実施した。

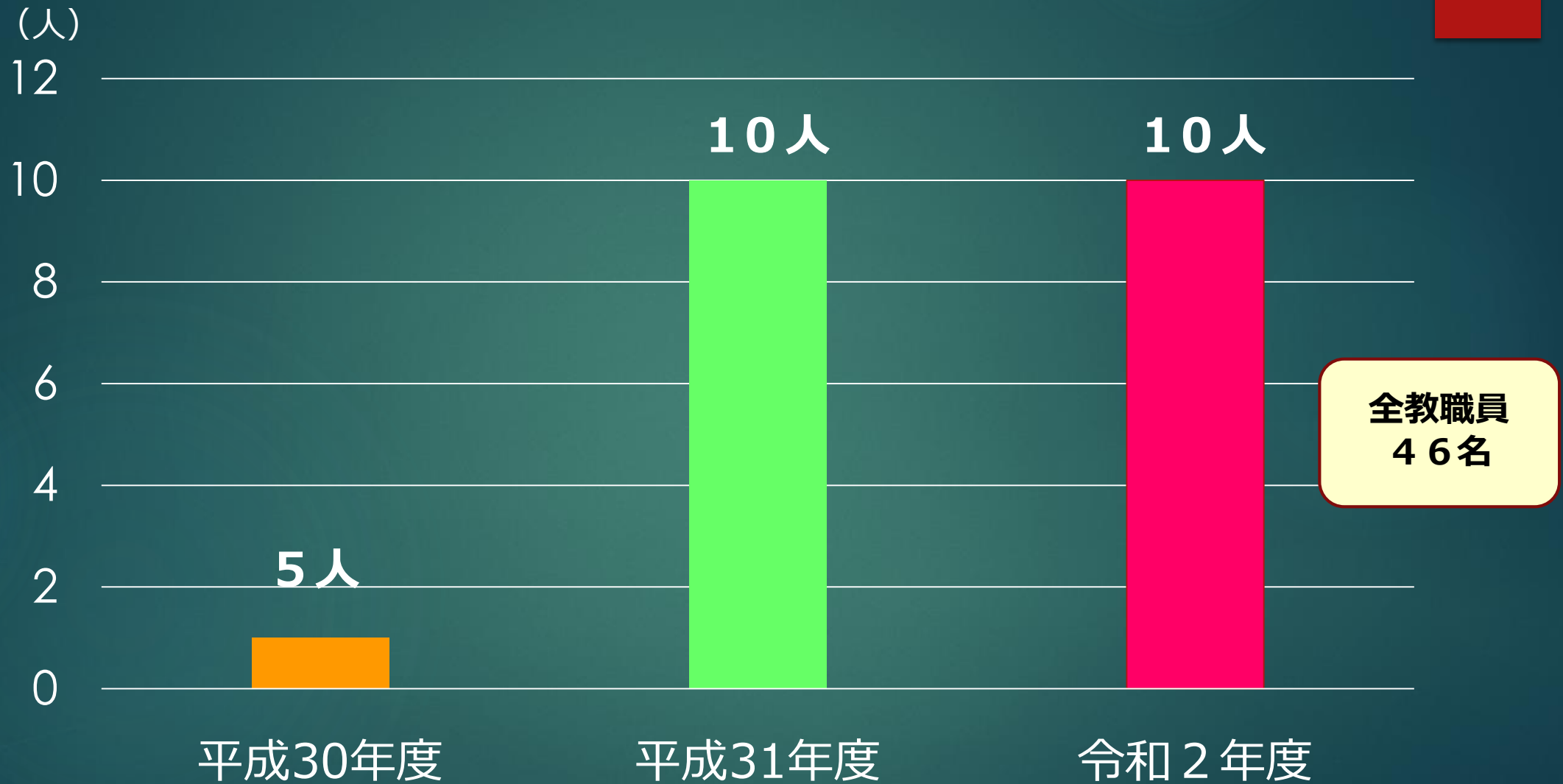
② 細かい時間での年休の取得

長期休業を中心に、1h、2hなど細かく区切った取得を勧めた。

③ 年休取得奨励日の設定

警報の発令による臨時休業等で授業が実施されなくなった日の午後には会議等を設けず、年休の取得を勧めた。

年休 10 日以上取得した教職員



(各年度、11月末で比較)

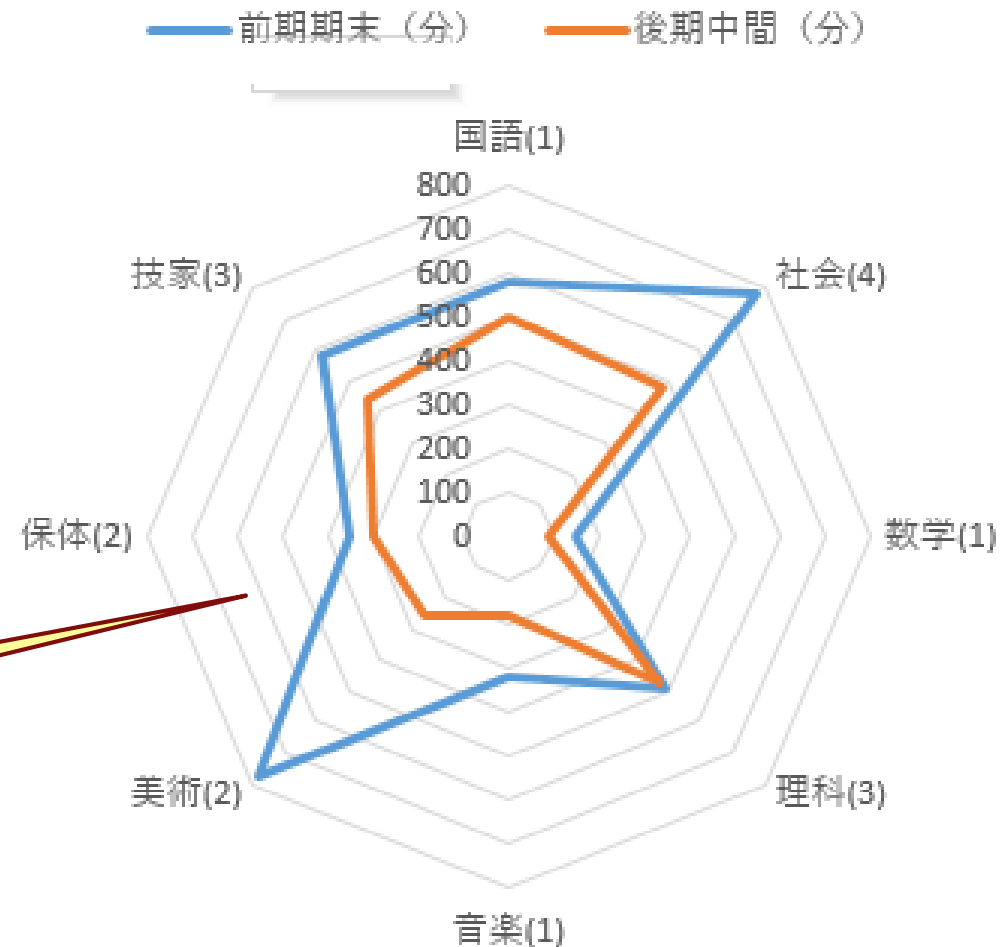
(4) 採点システムの導入

採点システムの使用による採点時間の短縮

青：利用前 赤：利用後

教科(使用者数)	前期期末 (分)	後期中間 (分)	差
国語(1)	580	500	-80
社会(4)	780	480	-300
数学(1)	150	90	-60
理科(3)	490	475	-15
音楽(1)	320	180	-140
美術(2)	780	260	-520
保体(2)	355	300	-55
技家(3)	585	445	-140
英語(0)	262	未使用	

採点業務時間が半分に減少



教員アンケートより

- ・ 採点時間が短縮できた。
- ・ 問題によっては、採点しやすい。
- ・ 丸つけ後の成績処理（データ管理）が円滑に進んだ。
- ・ 答案が電子データとして保存されるので、テスト返却時のトラブル（間違いを直す、追加記入など）を防ぐことができた。



3 取組のまとめと今後の方向性

働き方改革の取組

(4～11月)

月平均
時間外在校等時間

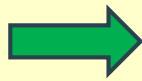
平均年休取得日数

時間外在校等時間
45 h 未満と
80 h 超の割合

平成31年度

(11月まで)

56.3時間



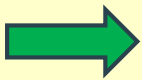
7.4日



45 h 未満 34.7%



80 h 超 8.0%



令和2年度

(11月まで)

47.5時間

6.4日

41.3%

6.8%

職員アンケートより

質問項目	肯定的回答の割合の変化
① あなたは以前と比べて 働き方改革に取り組もうとする意識 が 高まりましたか。	(H31) (R2) 68.6% → 84.6% +16.0%
② あなたは、現在、 子どもと向き合う時間 を十分確保 できていると感じていますか。	33.3% → 51.2% +17.9%
③ あなた 自身が感じる負担感・多忙感 は 以前と比べて小さくなりましたか。	43.3% → 53.8% +10.5%

今後の方向性

- ▶ 4月、10月の学期始めや大きな行事のある月には、退校時刻が遅くなるので、**早めの準備や行事内容の簡素化**などを更に進めていく。場合によっては**行事の実施内容など発想の転換が必要**である。
- ▶ 部活動が盛んな時期は、平日練習や休日の部活動が活発となるため勤務時間外在校等時間は減少しないので、**部活動のあり方を見直して**いきたい。
- ▶ 採点システムを活用し、これまで『**時間のかかった業務**』から『**時間をかけない業務**』に転換していく。（単元テストや各種アンケート等への活用も進める。）
- ▶ 計画年休やこまめに年休をとる方法は、教職員のWLBの促進にもつながっているので、**年休取得を推進する取組**を進めていく。

いじめ防止対策について

働き方改革によって生まれた
時間的・精神的ゆとり



いじめ・虐待・不登校・心の悩みへの取組強化

- 1 早期発見
- 2 迅速かつ組織的な対応
- 3 未然防止

1 早期発見

- ① 定期的なアンケート調査の実施
(生活アンケート・教育相談アンケート)
- ② ハイパーQUの実施 年2回
- ③ 教育相談の実施 年3回
(担任または相談したい先生に)
- ④ デイリーノートの日記等で
個々の生徒の内面を把握
- ⑤ 相談機関の紹介

①定期的なアンケート

第3回 教育相談アンケート ()年()組()番

1. 学校生活を振り返ろう
- ①得意な教科は ()
- ②苦手な教科は ()
- ③授業中 (よく集中している . . . だいたい集中してる . . . あまり集中していない)
- ④家庭学習 (自主学習・提出物など) を (よく頑張っている . . . まままあ頑張っている . . . あまり頑張っていない)
- ⑤友達や先生など人間関係で心配なことや悩みが (ない . . . ほとんどない)
- ⑥学校生活で心配なことや悩みが (ない . . . ほとんどない)
2. 自分の学校生活に得点をつけるとしたら
3. 頑張っていることを書いてください。
4. 学習について、心配なことや悩みがあれば
5. 友達について、心配なことや悩みがあれば
6. その他、学校生活について、心配なことや悩みがあれば
7. 学年副委員長

教育相談アンケート
(4・6・10・2月)

今のあなたの心の健康状態は??

- | | |
|----------------------------|--|
| 心
の
健
康
診
断 | ①最近、他の人と話をするのがイヤである。
②最近、気持ちが落ち着かない。
③最近、まぶたがピクピクする。
④最近、なやま。
⑤最近、食欲がない。
⑥最近、よく眠れない。
⑦最近、胸が苦しい。
⑧最近、頭が重たい。
⑨最近、目がちらちらする。
⑩最近、いろいろな不安を感じる。
1. あなたはどんな状態ですか?
~例~友達とけんかした
記入欄 |
| | 2. ストレスを感じるとどうしますか?
~例~落ち込む。眠れなくなる。
記入欄 |
| | 3. あなたのストレス発散方法は?
~例~音楽を聴く。カラオケに行く。ク
記入欄 |

*①~⑩までの合計は...合計 ()
<判定>
0点

心はいたって元気。全く心配なし。
...
心の状態
のリフレ
心の悩みを

令和2年度 第2回 生活アンケート ()年 組 名前

6月から本日まで、次のような経験をしたことがありますか。
書いたことは絶対に内緒にしますから、教えてください。
なお、アンケートを成績などには一切関係ありません。
回答には○をつけるだけで結構です。⑨だけは数字を記入してください。

- ①わけもなく、なぐられたり、けられたりしたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない
- ②先生や大人の人のいない所で、いやなことをされたり、悪口を言われたりしたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない
- ③「そうじをやっておけ」「かたづけおけ」など、仕事を命令されたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない
- ④遊びの時、仲間はずれにされたことはありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない
- ⑤「ことばをかけない」「仲間に入れない」などの無言のうちに、仲間はずれにされたことはありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない
- ⑥「○○さん」「○○君」と呼ばれることがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

生活アンケート
(7・10・2月)

- ⑦上履きやえんぴつなどをかくされたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

- ⑧「それをかせ」「これかきよ」などと言って、自分のものを持っていかれたまま返してくれないことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

- ⑨携帯やパソコンを通して悪口やうわさを書かれ、嫌な思いをしたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

- ⑩「お金をかせ」と言われて、とられたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

- ⑪「おごれよ」と言って、無理やりおごらされたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

- ⑫身近な大人から暴力を受けたことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

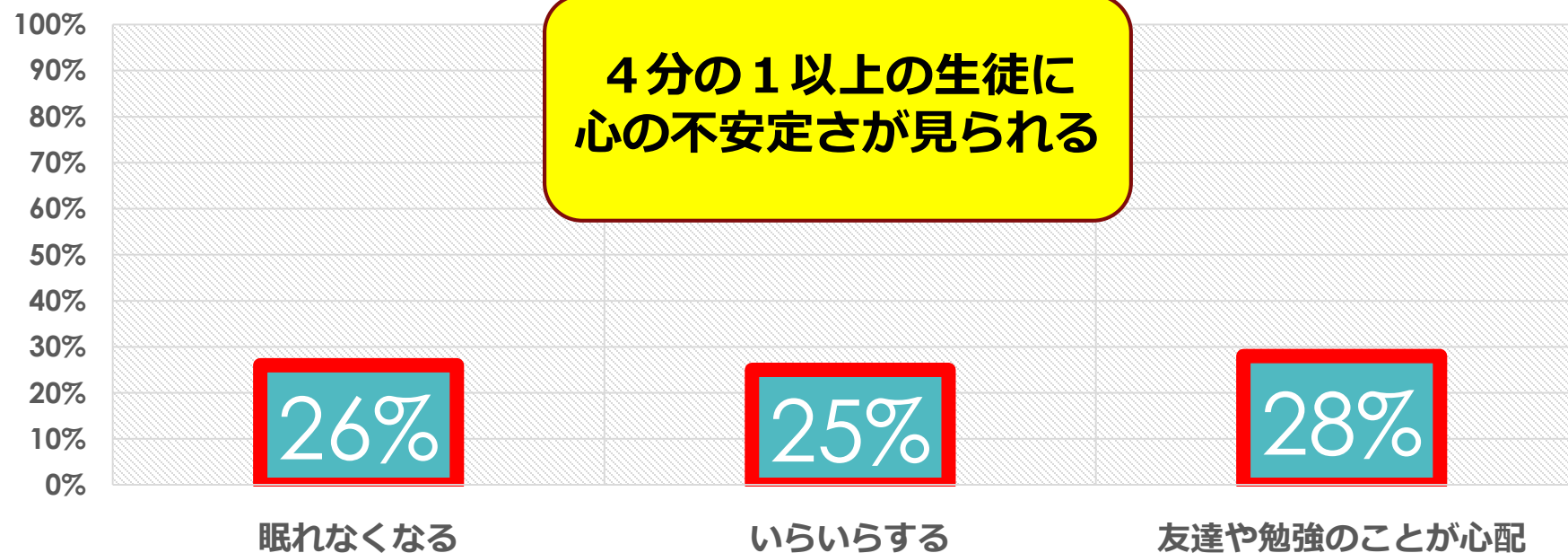
- ⑬ ①から⑫までについて、お話を聞いたり話をしていただいたのを見たことがありますか?
ある (1~2回、3~4回、5回以上)
ない

() () () () () ()
ができるように、
いかしていきます。

※臨時休校明けの生活アンケート（6月）では

長期の休校・自宅待機の影響も把握

6月実施の生活アンケート



※臨時休校明けの生活アンケート（6月）のうち

「SNSで嫌な思いをすることがある」

「身近な大人から暴力を受けることがある」

「心配に思うことを具体的に書いてください」



「ある」と回答または具体的な内容を書いた生徒にすぐに個別面談＆対応。

②ハイパーQUの実施（7・11月の年2回）

例

侵害行為
認知群

学校生活
満足群

学校生活
不満足群

要支援群

ハイパーQU

孤立感・疎外感
不登校・いじめ
の可能性大

非承認群

結果の分析

学年教員での共有



意識的な見取り

教育相談の深まり

適切な支援

③教育相談の実施

- 全校一斉の教育相談（7・10・2月の年3回）

学級担任による相談



・・・担任に相談しにくい生徒への対応も必要

希望の学年副担任による相談を可に（R2～）

- 随時、教育相談の受付
（教育相談担当による）

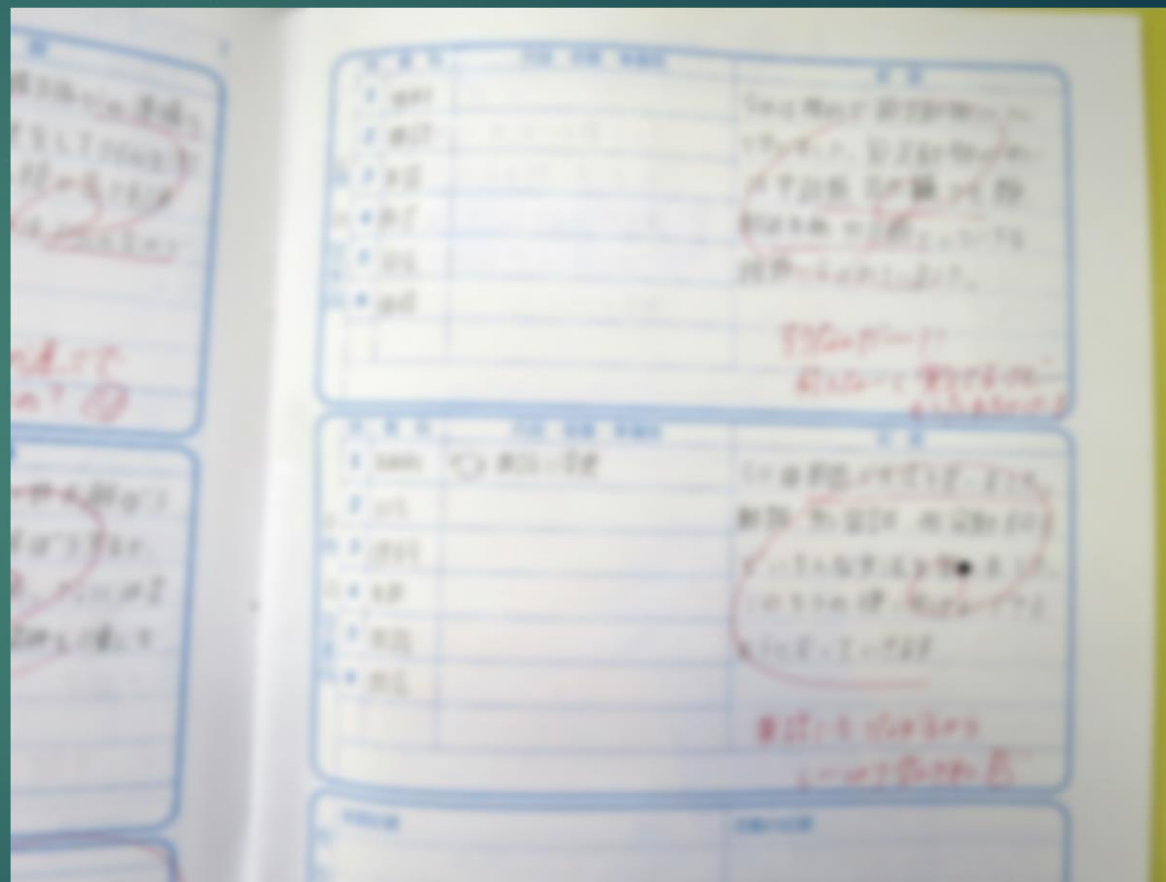


④デイリーノートを活用

毎日の日記を通した
担任との対話



いじめ、SNSトラブル、
自傷行為、虐待など様々
な問題に迅速に対応



⑤相談機関の紹介

教員や保護者に相談しにくい
夜間や長期休業中でも緊急に相談したい



夜間・休日などにも生徒のSOSに迅速に対応できる相談機関を紹介

LINEやツイッターなど、SNSで相談する方法もあるよ！

広島市青少年総合相談センター内
いじめ110番 24時間いつでも

全国統一の「24時間子供SOSダイヤル」
あらゆる「子どものSOS」に関する相談電話です
☎0120-0-78310
☎(082)242-2110
※どちらにかけても「いじめ110番」につながります。

こころのライン相談 @広島県
5月1日・3月31日
午後5時～午後9時
※火・木・日・曜日に限ります

SNS相談【厚生労働省】
LINE、ツイッターなどで相談ができます。
厚生労働省 SNS相談

広島市いじめ問題対策連絡協議会(広島市教育委員会)

こころがSOSを感じたら
広島市のHPからも相談できるよ！
「子どものいじめに関する情報提供窓口」
広島市 子どものいじめ

こころのライン相談 @広島県

令和2年 令和3年
5月1日・3月31日
午後5時～午後9時
※火・木・日・曜日に限ります

無料
匿名可
予約不要

LINE

いつでもおみのそばにいるよ！ ひろしま チャイルドライン

月 木 金 土 ☎ 0120-081-812
ここ4時～ここ9時 主催：認定NPO法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション

まいにち ☎ 0120-99-7777
ここ4時～ここ9時 (年末年始は別添) 主催：認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター
チャットそうぞんはここから

ひとりで悩まないで
～ 中学生・高校生のあなたへ～

一人で悩みを抱えていませんか。
悩んでいる人があなたの周りにいませんか。
どんなことでも一人で悩まず、相談をしてください。

発行 広島市精神保健福祉センター
お問合せ 〒730-0043 広島市中区富士見町11番27号
☎ 082-245-7731 ㊟ 082-245-9674

2 迅速かつ組織的な対応

- ①いじめ防止委員会を中心とした事実把握と
対応方針の明確化
- ②教職員の共通認識のもとで迅速な対応
(職員朝会、臨時学年会その他)
- ③教育委員会やスクールカウンセラーや
警察・医療機関等の専門機関と連携

3 未然防止

いじめの要因になり得るもの

一面のみでの他者評価

一体感の欠如

他者の否定により自らの価値を
高めようとする行為



いじめ防止のために必要なのは
良質のコミュニケーション・他者理解・自己肯定感

3 未然防止

①人間関係プログラム

共感的な体験活動 + アンガーマネジメント

②無言清掃・気付き清掃の取組

③生徒会による「いじめ標語」の取組

④道徳教育の推進

⑤特別支援教育の視点による取組の推進

⑥スクールカウンセラーの活用

①人間関係プログラム

周囲との協力、
楽しさ、達成感
を含んだ内容



良質のコミュニケーション
他者理解 共同の意識
一体感 支え合い



生徒による運営



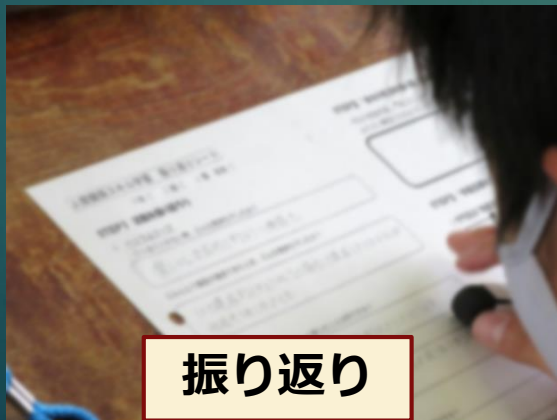
活動 1



活動 2



活動 3



振り返り



共有

「協力して達成できたときの
方が何倍もうれしい」

「前より話しやすくなった」

「〇〇くんがこんなに頑張る
のをはじめて見た」

①人間関係プログラム

些細な
トラブル



暴力
傷つける言葉



不登校
いじめ



怒りをコントロール
する力の育成が必要



アンガーマネジメント

怒りの感情をコントロールしよう！

Q 自分が怒ってしまいそうになったとき、気持ちを静めたり、キレないようにするために、どんな方法をとっていますか。

怒りをコントロールする方法を知ろう！

(1) 「静かに、ゆっくりと深呼吸します。昔からよく用いられている方法です。静かに、ゆっくりと深呼吸します。10回以上数えます。カウントダウンする方法もありますが、嫌な人がいるかもしれません。これも、数えていることが嫌な人を刺激して怒らせてしまうことがあるので注意します。

(2) 「心の中で静かにゆっくりと数を数えます。1から順に、少なくとも10以上数えます。カウントダウンする方法もありますが、嫌な人がいるかもしれません。これも、数えていることが嫌な人を刺激して怒らせてしまうことがあるので注意します。

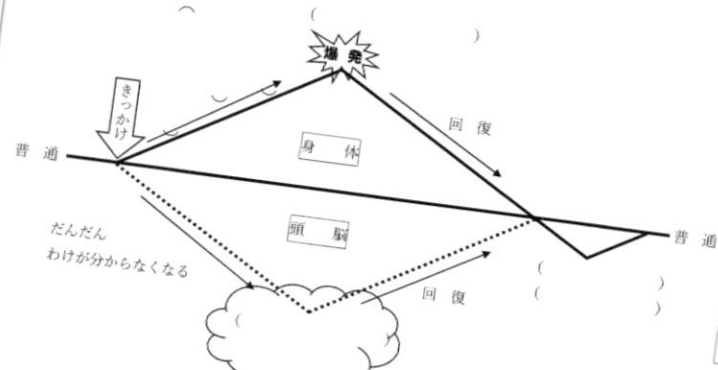
(3) 「1と2を同時に行う方法です。1・2・3・4・5・6・7・8・9・10と心の中で静かに

「怒り」とは、どんな感情？

○「怒り」とは…
(1) どんな時に起きる感情ですか？

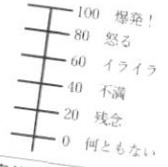
(2) どんな感情ですか？

○「怒りの火山」



私の怒りのパターン

あなたは、次のようなとき、どの程度の怒りを感じますか。
「温度」欄に、右上の「怒りの温度計」にある温度を記入してください。また、そのように怒りを感じたときに、自分はどのような態度をとると思いますか。そして、そのような態度をとったとき、自分や周囲にどんなことが起きると思いますか。



出来事	温度	自分の態度	自分の態度の結果
(例) 下校時、隣の人が書いた傘が自分の顔に当たった。	100	「痛いーなあ、このやろう！」と多分キレて、殴るか蹴るかする。	相手に嫌われる。親や先生に叱られる。けがをさせたら、警察沙汰になる。
①廊下を歩いていた、すれ違いざまに暴言を言われた。			
②友達から他の人が自分の悪口を言っていたことを聞いた。			
③自分が大切にしていた本を貸したら、汚れて返ってきた。			
④自分の失敗を、いつまでもからかわれる。			
⑤自分の好きなものを、他の人から馬鹿にされた。			
⑥自分の好きな人を、他の人にばらされた。			
⑦親から、「勉強しなさい」と言われる。			

②無言清掃 気づき清掃

無言で役割や責任を考えた清掃
他者や周囲に気を配り気づき清掃



集団への所属感・協力
他者への気配り
自己有用感・自己肯定感
落ち着いた環境

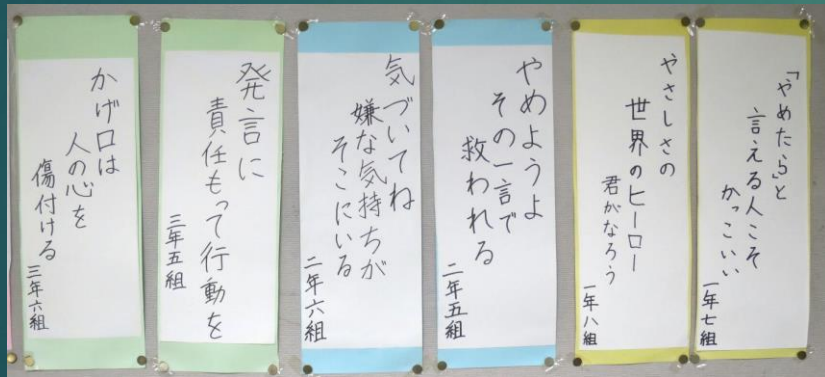


③生徒会による「いじめ標語」の取組

生徒会が企画・実施
各学級で募集・選考



全校スローガンを作成
横断幕を作成し、掲示



④道徳教育の推進

ティームティーチングによる道徳授業
(担任 + 教育相談担当 or 生徒指導主事)



ICTを活用した教材の作成
授業方法の工夫
ていねいな見取り



⑤特別支援教育の視点による取組の推進

発達課題を抱えている生徒



コミュニケーション
や学習での困り感



孤立・不登校
いじめの可能性



教職員の正しい見取りと適切な支援の力を高める必要



特別支援教育の専門家による授業観察・助言
(福島学院大学・杉山教授や特別支援教育士の竹内氏)
該当学年を中心にした研修
助言をもとにした適切な支援



⑥スクールカウンセラーの活用

生徒・保護者のカウンセリング

+

生徒指導委員会・いじめ防止委員会での助言 (毎木曜日)

専門家の立場からの助言
小学校で関わった生徒に関する助言



カウンセリング

スクールカ
ウンセラー



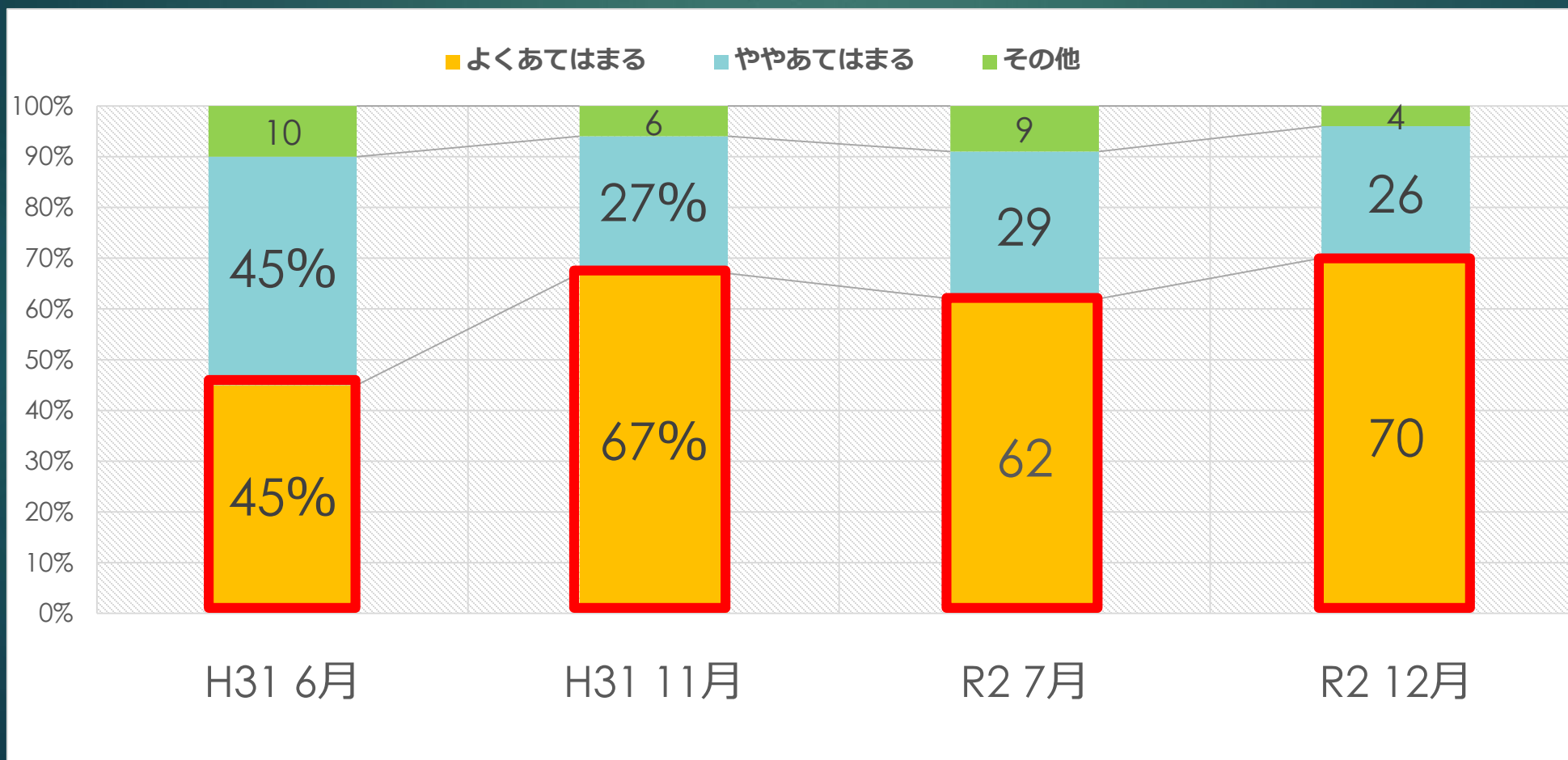
生徒指導・いじめ防止委員会

いじめ対策推進
担当教諭も参加

★取組の成果（学校評価・生徒アンケートより）

〔授業におけるコミュニケーション〕

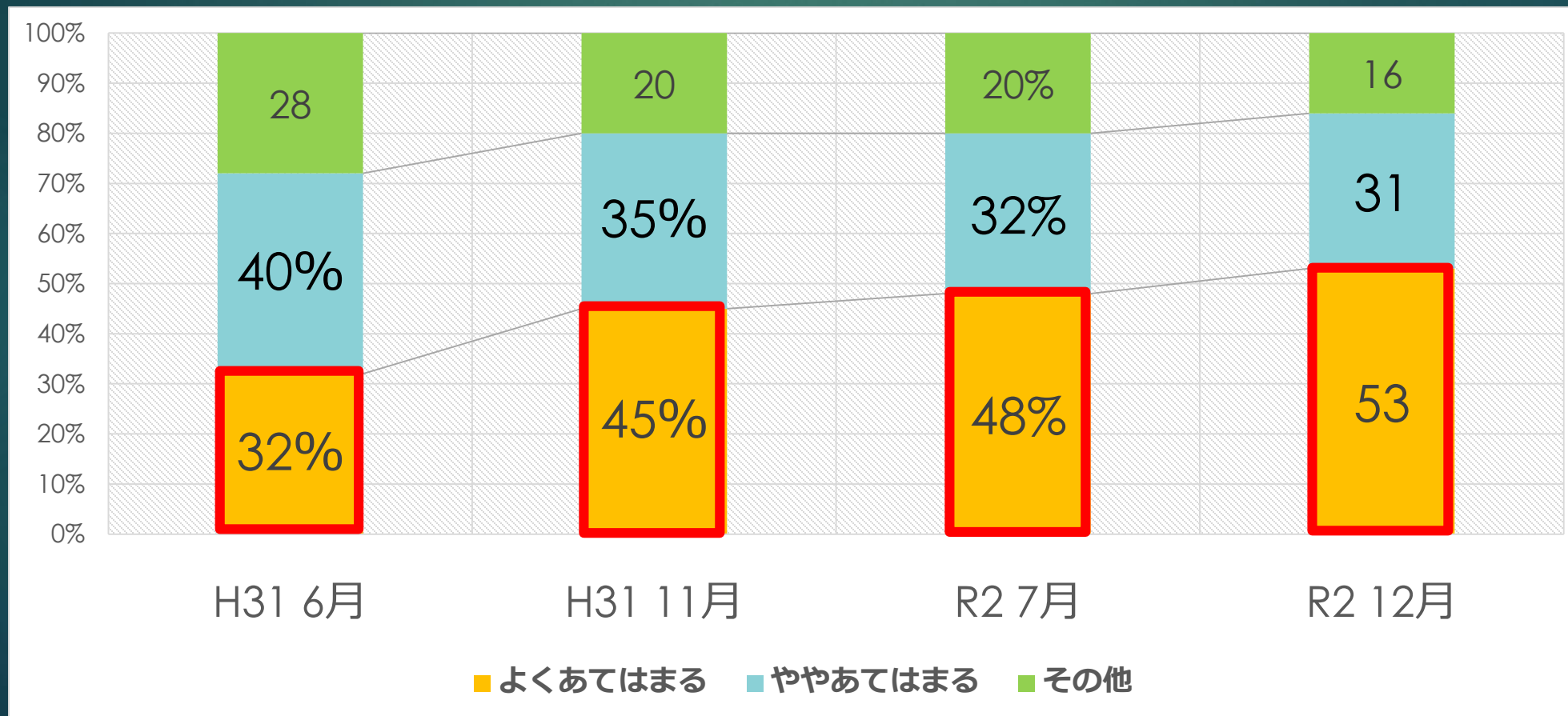
問「ペア・グループ学習で自分の考えを伝え、仲間の考えを聴き合っている」



★取組の成果（学校評価・生徒アンケートより）

〔自己肯定感〕

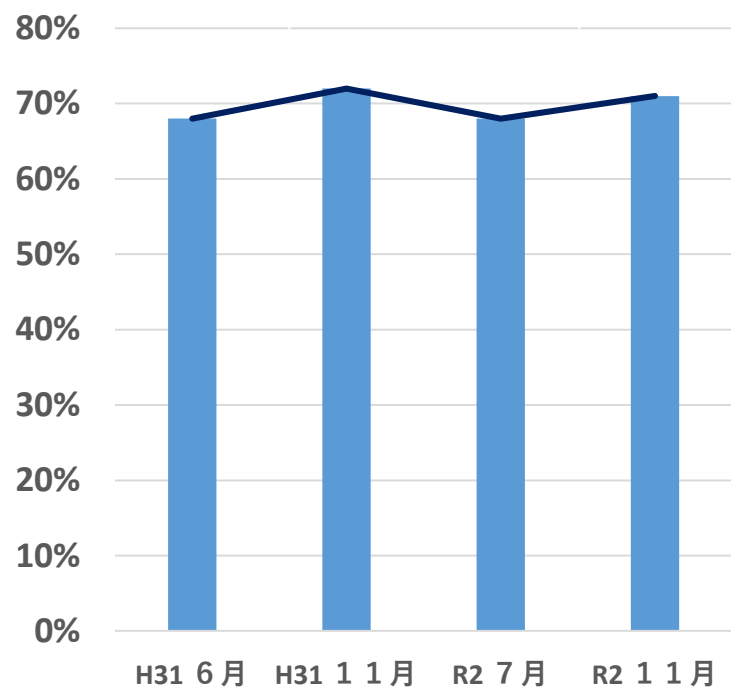
問「自分には良いところがあると思う」



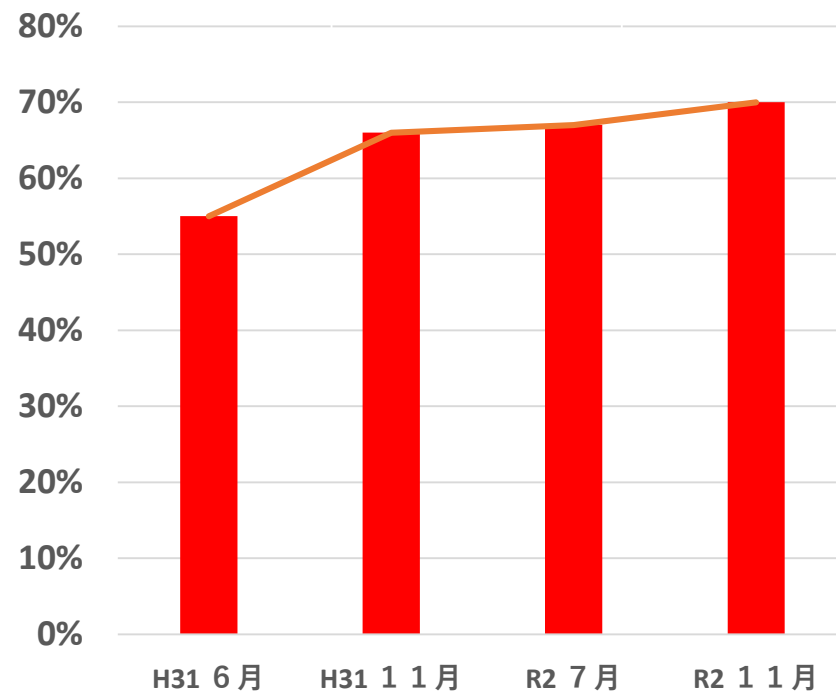
★取組の成果（ハイパーQUの結果より）

学級生活満足群の割合

現2学年



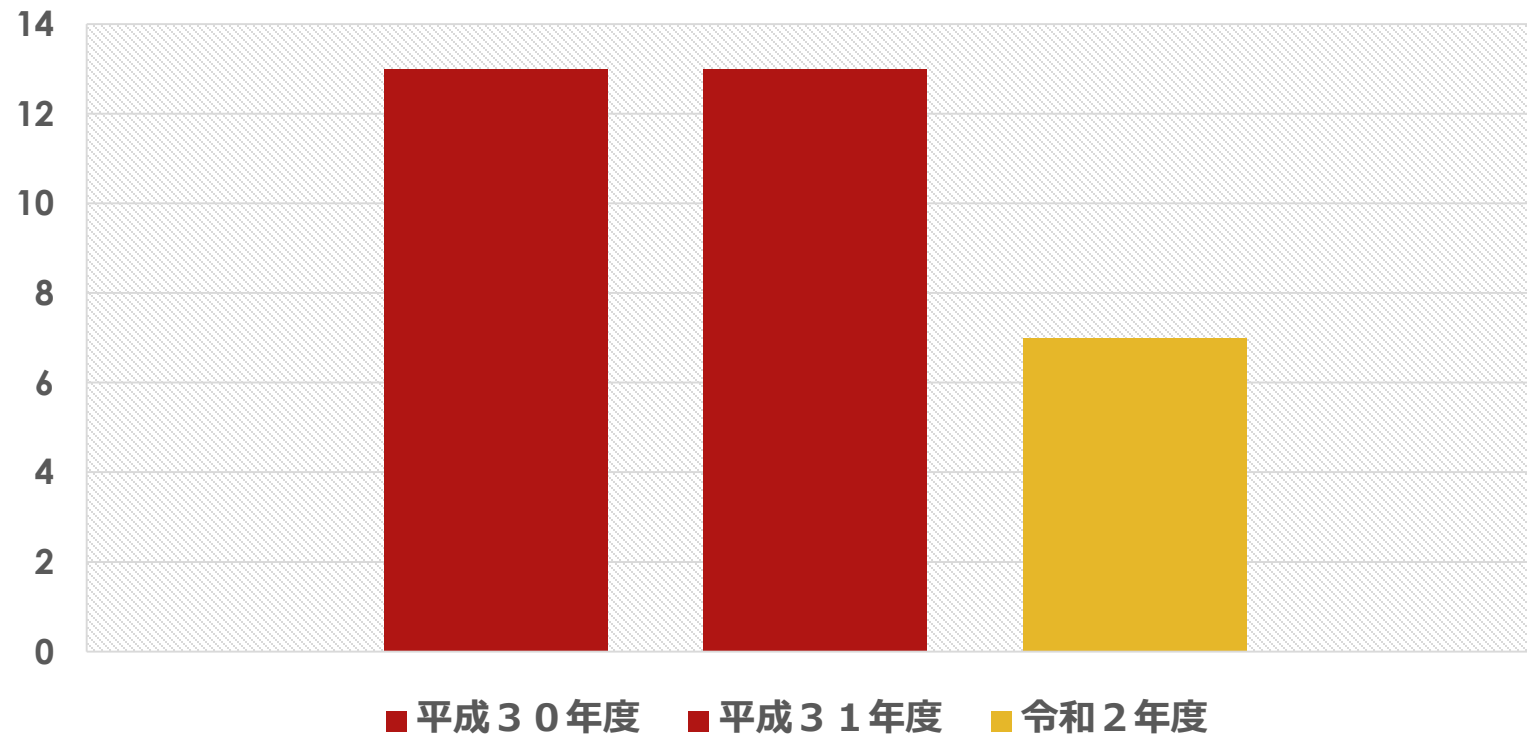
現3学年



(全国平均 41%)

★取組の成果

〔いじめ認知件数〕 4～11月の比較



まとめとして

働き方改革の取組

いじめ防止対策の取組

教職員の
時間的・精神的ゆとり

いじめ・虐待・不登校・心の
悩みへの未然防止、早期発見、
組織的な対応



学校経営重点計画における
目指す姿

元気な教師

元気な生徒

元気な学校

